

# 令和5年度 年間指導計画

B植物5

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	2	学年・学科	2学年・B科
教科書			副教材				

学習目標	<p>○農業各分野の実験・実習など、実際の・体験的な学習を通して、各分野の体系化、総合化された知識と技術を習得します。</p> <p>○経営や管理の改善に必要な企画力管理能力やコミュニケーション能力など実践的な能力と態度の育成を図ります。</p>
学習方法	<p>○学校内の圃場を活用し、作物・野菜・果樹・草花といった各分野における栽培から収穫までの農業基礎を学びます。</p> <p>○実習内で収穫された農産物を販売し、経営や管理を学びます。</p> <p>○農業器具を活用し、その使い方や活用法を学びます。</p>

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					調査	調査以外
学 習 評 価	a 知識・技能	農業実習を通して、観察・調査の過程で成長の原理を理解している。農業実習やインターンシップ活動などを通して、役割を体験的に理解し、農業各分野の生産・加工・利用などに関する実践的な技術を習得している。	前期中間	40 %	0	40
			前期末	40 %	0	40
			後期中間	40 %	0	40
			後期末	40 %	0	40
	b 思考・判断・表現	生徒自らが発見し、分析し、工夫したり、協力したり、さらには農業各分野における自らの職業生活について考えることができる。	前期中間	30 %	0	30
			前期末	30 %	0	30
			後期中間	30 %	0	30
			後期末	30 %	0	30
	c 主体的に学習に取り組む態度(意欲)	農業実習を通して専門的な栽培技術を学習し、農業に関する高い興味・関心を持っている。	前期中間	30 %	0	30
			前期末	30 %	0	30
			後期中間	30 %	0	30
			後期末	30 %	0	30

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前 期 中 間	○校内意見発表会 ○農業クラブ総会(前期) ○年間計画の作成 ○育苗と管理 ○農業機械安全教育	・播種について学びます。	○	○	○	a: 農業実習を通して、各専攻班での協力的・協調性を図るとともに、自らが農業作業について考え、行動できる。 意見発表において積極的に発表、参加し、産業に関する知識を身に付けることができる。 b: 播種や育苗管理、さらには農業機械安全教育を通して農業の基礎的な栽培技術を身につけている。 c: 農作業実習において興味関心をもち、実習に積極的に参加している。	・農業クラブ ・実習手帳 ・授業レポート ・実践活動
		・育苗管理について学びます。	○	○	○		
		・品種選択利用による栽培について、実習を通じて学びます。	○	○	○		
		・受粉管理、摘果を実践して学びます。	○	○	○		
		・各種農業機械、農業設備の使用について安全な操作法を学びます。	○	○	○		

前期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業鑑定競技</li> <li>○インターンシップ</li> <li>○農薬使用法</li> <li>○生育と管理</li> <li>○生産物収穫管理</li> </ul>	・栽培圃場、温室の夏場の生育管理について学びます。 (灌水方法など)	○	○	○	<p>a: 農業実習を通して、各専攻班での協力的・協調性を図るとともに、自らが農業作業について考え、行動できる。 インターンシップ活動において積極的に参加することができる。</p> <p>b: 農薬の使用法や生育管理、生産物収穫管理を通して農業の基礎的な栽培技術を身につけている。</p> <p>c: 農作業実習において興味関心をもち、実習に積極的に参加している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業クラブ</li> <li>・実習手帳</li> <li>・授業レポート</li> <li>・実践活動</li> </ul>
		・薬剤散布について学びます。	○	○	○		
		・部門別栽培技術について学びます。	○	○	○		
後期中間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生産物販売実践</li> <li>○盛農祭</li> <li>○収穫感謝祭</li> </ul>	・収穫適期に、班別に管理実習を行います。	○	○	○	<p>a: 農業実習を通して、各専攻班での協力的・協調性を図るとともに、自らが農業作業について考え、行動できる。 生産物販売において積極的に参加することができる。また、12月に行われる日本農業技術検定の勉強として各専攻班のローテーションで勉強会を行い、知識を身に付けます。</p> <p>b: 収穫管理、病害虫の障害防除方法などの農業の基礎的な栽培技術を身につける。</p> <p>c: 農作業実習において興味関心をもち、実習に積極的に参加している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業クラブ</li> <li>・実習手帳</li> <li>・授業レポート</li> <li>・実践活動</li> </ul>
		・出荷、販売管理について、実習を通じて学びます。	○	○	○		
		・秋耕起について学びます。	○	○	○		
		・花による装飾について、実習を通じて学びます。	○	○	○		
		・病害虫、生理障害について学びます。	○	○	○		
		・農業技術検定3級の学習を行います。	○	○	○		
後期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>○収穫調整と環境整備</li> <li>○農業クラブ総会(後期)</li> <li>○日本農業技術検定</li> <li>○プロジェクト発表</li> <li>○環境整備</li> <li>○FFJ検定</li> </ul>	・機械、温室等の整備について学びます。	○	○	○	<p>a: 農業実習を通して、各専攻班での協力的・協調性を図るとともに、自らが農業作業について考え、行動できる。プロジェクト発表会において積極的に参加し、知識を身に付けることができる。</p> <p>b: 収穫調整および春からの農業の準備作業を通して農業の基礎的な栽培技術を身につけている。</p> <p>c: 農作業実習において興味関心をもち、実習に積極的に参加している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業クラブ</li> <li>・実習手帳</li> <li>・授業レポート</li> <li>・実践活動</li> </ul>
		・学科内のプロジェクト発表会を行います。	○	○	○		
		・整理整頓を心がけ、春作業の準備を行います。	○	○	○		